

予算特別委員会 審査レポート



用語解説

予算特別委員会とは、市の予算が、市民の皆さんのよりよい生活のためにどのように使われるのか等を詳しく審査するために特別に設置される委員会です。



新年度予算案可決

第1回定例会において市長から提出された令和2年度当初予算については、8人の委員で構成される予算特別委員会が設置され、3月10日から12日までの3日間の集中審議により、執行部からの説明聴取や、検討改善事項の取りまとめを行いました。

その結果、新年度の一般会計及び特別会計予算については、いずれも原案のとおり可決となりました。

令和2年度当初予算は、厳しい財政状況であることに鑑み、新規事業の抑制や既存事業の休廃止、縮小などが行われ、一般会計予算は、前年度と比べて、1.6%、2億4,200万円減の、146億300万円となりました。

農業支援制度の維持拡充へ意見

厳しい財政状況の折、各課等の予算(案)が削減される中、予算特別委員会では、市の基幹産業である農業に係る予算について、支援制度の維持・拡充に関する意見が挙がりました。

主な質疑を要約すると、次のとおりです。

【問】 水稻共同防除事業の予算について、前年度と比較してどうか。

【答】 令和2年度は、10a当たり300円とした。平成30年度までは200円で、令和元年度は、400円としていた。

【意見】 水稻共同防除事業など必要不可欠な事業については、維持・拡充されたい。



令和2年度一般会計歳入歳出予算の概要

※四捨五入の関係で実際の額とは一致しません。

歳 入		歳 出	
() 内は前年度比		() 内は前年度比	
■市 税	49億8,182万円 (+2,581万円) …個人市民税、固定資産税など	■民生費	59億973万円 (△2億2,964万円)
■地方譲与税	1億9,290万円 (+1,700万円)	■衛生費	16億3,118万円 (△5,825万円)
■地方交付税	31億円 (+1億円)	■農林水産費	4億8,210万円 (+1,352万円)
■使用料及び手数料	2億2,235万円 (△3,608万円)	■土木費	10億6,933万円 (△1億968万円)
■市 債	7億4,490万円 (△2億7,560万円)	■教育費	14億4,986万円 (+2,800万円)
■そのほか	53億6,103万円	■公債費	13億6,113万円 (+5,841万円)
		■そのほか	26億9,967万円
歳入合計	146億300万円 (△2億4,200万円)	歳出合計	146億300万円 (△2億4,200万円)

財政健全化に向けた緊急的な取り組みを踏まえた審査

令和2年度も、市の財政状況は依然として厳しい状況にあります。

市執行部からは、「財政健全化に向けた緊急的な取り組み(案)」が示されました。予算特別委員会では、この取り組みを踏まえて、各課等の予算を審査しました。

主なポイントは次のとおりです。

～歳入(市の収入)面での取組～

- ▶ 市税の徴収強化
- ▶ 市有財産の売却
- ▶ 受益者負担の適正化(使用料・手数料などの見直し)
- ▶ 基金の整理・統合
- ▶ 企業誘致の推進

～歳出(市の支出)面での取組～

- ▶ 人件費の抑制
- ▶ 新規事業の抑制
- ▶ 補助金等の見直し
- ▶ 一般会計からの操出金の抑制

検討改善事項

市の予算(お金)が、市民の皆さんにとってよりよい使い方となるように、予算特別委員会で取りまとめた各課等の予算に関して、検討、改善を求めた事項のうち、主なものをお知らせします。

◆**財政課について**
財政健全化に向けて、実行性のある緊急的な取組を。

◆**秘書広報課について**
秘書事務費について、必要性、緊急性の観点から見直しを。

◆**総務課について**
会計年度任用職員について、適切かつ効果的な運用を。

◆**企画政策課について**
◆**市民課について**
国民健康保険事業の安定運営を。

◆**社会福祉課について**
障がい者、生活保護受給者を含めた生活困窮者の自立支援を。

◆**子育て支援課について**
子育て世代の多様なニーズに応えるために、子育て交流センター、子育て支援館の有効活用を。

◆**高齢者支援課について**
◆**農業振興課について**
本市の基幹産業は、農業であるから、水稻共同防除事業など必要不可欠な事業については、維持拡充を。

◆**地域づくり課について**
リサイクルの促進により、資源の大切さを啓発するとともに財源の確保を。

◆**商工観光課について**
海水浴場の監視業務や駐車場料金の管理業務については、事業内容の精査を。

◆**建設課について**
浸水対策の要となる金谷川河川改修工事の推進を。

◆**都市整備課について**
小中池公園について、本市の観光拠点となるよう整備の検討を。

◆**安全対策課について**
市民の安心、安全の確保のため、防災・減災、防犯にかかる施設整備を。

◆**健康増進課について**
シルバー人材センターの的確な運営を。

◆**教育委員会生涯学習課について**
図書室について、限られた予算の中で創意工夫して住民のニーズに対応を。

◆**下水道課について**
接続率の向上と経営健全化を。

◆**農業委員会について**
引き続き農業委員、農地利用最適化推進委員と連携し、遊休農地の解消に努め、農地利用の適正化に向けた取組を。

委員長	北 田 宏 彦
副委員長	秋 葉 好 美
委員	土 屋 忠 和
委員	小 倉 利 昭
委員	蛭 田 公 二 郎
委員	黒 須 田 俊 隆
委員	岡 田 憲 二
委員	石 渡 登 志 男